

## 2007年1月から2019年2月までに

### 病理解剖されたご遺族の方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方のご遺族の中で、対象者の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

#### ●研究の名称

剖検心組織を用いた心筋梗塞後組織修復における間質の変化に関する検討

#### ●研究の対象

2007年1月～2019年2月に病理解剖され、病理学的に心筋梗塞と診断された方

#### ●研究の期間

承認後（2019年6月）から2020年3月まで

#### ●研究の目的

ヒト急性心筋梗塞後の組織修復過程において、間質を構成する物質の局在を明らかにすることにより、心筋梗塞の病態を明らかにすることを目的とする。

#### ●研究の方法

病理解剖により採取された心臓のホルマリン固定パラフィン包埋組織を本研究用に新たに薄切し、形態変化とともに、種々のタンパク質、線維、炎症細胞、サイトカインなど炎症に関連する物質などを免疫組織化学的に検討するために、三重大学医学系研究科修復再生病理学今中恭子准教授へ送付します。また、これらの組織をともに、診療情報や臨床検査の情報を個人を特定できない形でエクセル表に記載して送付し、上記結果と統計学的に解析します。

#### ●研究に使用する試料・情報

対象とするのは心筋梗塞後の、①肉芽形成期（梗塞後第5～7日目に相当）、②修復期（梗塞後第14～28病日に相当）、③瘢痕形成期（梗塞後1～2カ月後に相当）の各時期から5例以上、合計20症例である。

研究-参考書式 2

●情報提供の方法

作成された調査票は、三重大学医学部修復再生病理学今中恭子准教授に郵送されます。

三重大学医学部修復再生病理学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者（新井富生）が保管・管理します。

●研究組織

三重大学医学系研究科修復再生病理学 今中恭子（研究責任者）

三重大学医学系研究会修復再生病理学 吉田利通

東京都健康長寿医療センター病理診断科 新井富生（当センターの責任者）

●資料の入手または閲覧、開示

この研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。全体の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で研究結果をお伝えします。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター病理診断科

電話 03-3964-1141（代）

連絡先：新井富生（9：00～17：00）

研究責任者：三重大学医学系研究科修復再生病理学 今中恭子

研究代表者：三重大学医学系研究科修復再生病理学 今中恭子